

## 目 次

第 9 回公開講演会「中東と日本の間」迫る！.....	1
日本中東学会第 22 回年次大会研究発表者の募集.....	2
アジア中東学会連合( AFMA )大会報告希望受付の終了.....	5
日本中東学会年報( AJAMES )編集委員会から.....	6
寄贈図書.....	8
2006 年度会費納入のお願い.....	8
事務局より.....	9

### 第 9 回公開講演会「中東と日本の間」迫る！

皆様、今年も公開講演会の季節がやってまいりました。

毎年 1 回開催しているこの講演会は、学会としての社会貢献をめざしたものであり、また一般の方々へ発信する大事な機会です。どうか、まわりの方々や学生の皆様へ周知くださり、おいでいただくようお願いください。ご自身も、是非おいでください。

今年は、「中東と日本の間」をテーマといたしました。近年は、中東との関係が次第に深まりつつあります。しかも、単に量的に拡大するというのではなく、日本からのコミットメントにしても、中東からの期待や反発にしても、これまでなかったような質的な変化が起こっています。関係のあり方について、じっくり考えてみるべき時期ではないでしょうか。

そこで、中東と日本の交流の歴史を振り返ってみながら、この地域の政治経済

や文化の諸相を分析し、考察してみたい、というのが、今回の趣旨です。プログラムは下記の通りです。

明治以来の中東との関係を、あまり知られていないトルコとの関係、そしてトルコにおける強い親日観のルーツなどから解き明かし、また文化交流については、日本人の中東イメージにおいて大きな役割を果たしてきた楽しい「アラビアン・ナイト」を素材とし、そして、最後に、過去 30～40 年の中東と日本の政治・経済関係を振り返りながら、21 世紀にどのような課題があるのかを、皆様とともに考えてみたいと思います。

どうぞ、お誘い合わせの上、おいでください（なお、例年とは会場を変えましたので、下記をご覧ください）。お待ち申し上げております。

（企画担当理事 小杉 泰）

\* \* \*

## 第 9 回公開講演会「中東と日本の間」

日時：2005 年 11 月 5 日（土） 午後 2 時～6 時

（開場 午後 1 時 30 分）

場所：明治大学リバティホール（リバティタワー1013 教室）

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

（JR 中央線・総武線「御茶ノ水」駅、地下鉄丸の内線「御茶ノ水」駅または千代田線「新御茶ノ水」駅下車）

< 講演 >

小松香織（筑波大学大学院人文社会科学研究科助教授）

「トルコにおける親日観の源流」

西尾哲夫（国立民族学博物館助教授）

「アラビアンナイト（千夜一夜物語）と日本人の中東幻想」

小杉泰（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授）

「文明の相互認知と政治・経済関係：21 世紀の日本と中東」

司会：林佳世子（東京外国語大学外国語学部教授）

\* なお、本講演会は、平成 17 年度文部科学省科学研究費補助金研究成果公開促進費による補助をうけて、開催されます。

## 日本中東学会第 22 回年次大会研究発表者の募集

すでに前号(104号)でご案内しましたとおり、日本中東学会第 22 回年次大会は、2006 年 5 月 13 日(土)・14 日(日)の 2 日間にわたり、東京都府中市の東京外国語大学で開催されます。このたび実行委員会が会合を開き、参加申し込み、研究発表者募集などの細目を決定いたしましたので、それをお知らせします。手続きなどでこれまでとは異なった点がございますので、ご注意ください。なお、同じ内容のものは学会ホームページ(<http://www.soc.nii.ac.jp/james/index.html>)にも掲載されております。多くの方々に参加・発表をされることを期待しております。

なお、同時に開催されますアジア中東学会連合(AFMA)第 6 回大会の詳細に関しましては、AFMA 実行委員会からのお知らせをご覧ください。(5~6 ページに関連記事)

### 1) 研究発表申し込みについて 締切をお忘れなく

ご希望の方は、12 月 10 日までに名前・所属・発表題目(仮題でも可)・希望する使用機器(パソコン用プロジェクターは確実に使えますが、スライドプロジェクター、OHP などその他の機器については台数に限りがありますので、とりあえずご希望をお教えください。できるだけ対処いたします)を実行委員会事務局(下記参照)まで、電子メールまたはファックスにてご連絡ください。事務局の電子メールは [jameet@aa.tufs.ac.jp](mailto:jameet@aa.tufs.ac.jp)、ファックスは 042-330-5543 です。

なお、発表時間は 30 分、質疑応答は 10 分を予定しておりますが、発表希望者の数と会場の都合により、若干変更されるかもしれませんので、その点をお含みおきください。

今後の予定としましては、12 月中に発表者の最終決定をし、1 月中旬に発表要旨原稿の依頼をします。要旨原稿の締切は 2 月末日です。そのときまでに要旨原稿の提出ならびに参加費支払いを済ませていない場合には、発表を取り消させていただきます。

### 2) 参加および懇親会申し込みについて 前納制といたします

1 月下旬にお届けする予定の次号日本中東学会ニューズレターに、大会への出欠、総会議決の委任状(欠席の場合)、懇親会・弁当(昼食)の申し込みといった書類とともに、郵便振替用紙を同封します。大会に参加される方はその振替用紙をご利用の上、4 月 10 日(当日消印可)までに参加費をお払いください(研究発表希望の方の参加費納入締切日は、上述のとおり、それより早く 2 月末日です)。また、懇親会費、弁当代などの納入もその振替用紙をご利用くだ

さい。

参加費は同時開催の AFMA 大会参加費も含めて 2,000 円、懇親会費は 5,000 円（学生会員は 4,000 円）です。

4 月 10 日までにお払いいただけなかった場合には、その後(大会当日も含む)も受け付けますが、参加費・懇親会費ともそれぞれ 1,000 円上乗せし、参加費 3,000 円、懇親会費 6,000 円(学生会員 5,000 円)とさせていただきます。なお、事前にお払いいただいた諸費用は返却に応じかねますので、その点もご注意ください。

このような参加費・懇親会費などの前納制は、これまで日本中東学会では行ってこなかったものです。しかし、年次大会の準備をスムーズに行うために、参加者数などの事前の把握はきわめて重要なものになってきます。事情をご理解の上、ご協力のほどを宜しくお願い申し上げます。

### 3) 託児所設置の件 ご遠慮なくお問い合わせ下さい

学会では初めての試みとして、小さいお子さんをお持ちの学生会員の便宜のために、大会開催期間中に臨時的託児所を開設したいと思っております。原則として 0 歳から小学校入学前までの乳幼児を対象とします。専門のシッターさんと契約をする予定ですが、シッターさんの時給は 2,000～2,300 円になります。費用の一部は実行委員会で負担しますが、受益者負担もお願いせざるをえません。負担額は、利用される方の数、乳幼児の年齢などによって変わってきます。

このような事情から、託児所利用希望の方がどのくらいいらっしゃるのか、事前に把握しておけば、計画が立てやすくなります。したがって、託児所設置にご関心をお持ちの方は、実行委員会の託児所担当(連絡先は下記)までご連絡ください(一種の仮登録とお考えください)。ご連絡いただいた方々には、2 月末ごろに、託児所を利用するか否かの最終的な判断を担当の方からうかがいます。それが判明次第、負担額などを最終的に決定いたします。

託児所設置はまったく初めての試みですので、暗中模索のところがありますが、若い研究者の方々が増えておりますので、今後ますます必要となる便宜だと思われれます。お気軽に託児所担当まで、電子メールまたはファックス(電話では受け付けません)でお問い合わせください。

#### 【託児所担当】

山下王世(やました・きみよ)

電子メール: kim.yy@tufs.ac.jp

ファックス: 042-330-5599 (東京外国語大学研究協力課気付・山下王世宛、と明記してください)

なお、第 22 回年次大会に関するお問い合わせは、託児所の件を除いて、下記の  
実行委員会事務局にまでお願いいたします。その際には、郵便、電子メールまたは  
ファックスでお願いいたします。お電話での受付はいたしません。

日本中東学会第 22 回実行委員会事務局

〒183-8534 府中市朝日町 3-11-1

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

近藤信彰研究室気付 E-mail: jameet@aa.tufs.ac.jp FAX : 042-330-5543

(第 22 回年次大会実行委員長 大塚 和夫)

## アジア中東学会連合 (AFMA) 大会報告希望受付の終了

来年 2006 年 5 月 13-14 日、日本中東学会年次大会と同時開催 (会場: 東京外国  
語大学) が予定されているアジア中東学会連合 (AFMA) 第 6 回東京大会 “Middle  
East Perspectives from East Asia: Diversifying the Middle East and Islamic Studies” に関  
して、これまで日本中東学会会員および韓国、モンゴル、中国の各中東学会会員  
からの報告希望を受け付けておりましたが、9 月末日を持って受付を終了いたし  
ました。その間、2 つのパネル企画と 18 本の個別報告の応募があり、過日 AFMA  
実行委員会でも内容を検討した結果、現段階で暫定的に下記の形で 8 つのパネルに  
取りまとめました。

会員による事前企画のパネル (会員企画パネル)

Session 1. Urban Non-Elite in Middle Eastern Societies: Three Case Studies from  
Istanbul and Cairo between the 17th and Early 20th Centuries

Session 2. Middle Eastern Literature(s): From East Asian Perspectives

個別の会員の提案をまとめたパネル (AFMA 実行委員会企画パネル)

Session 3. Comparative Studies on Social Values in the Middle East and East Asia

Session 4. The Middle East and East Asia in Global History

Session 5. Trade and Economy in the History of the Middle East

Session 6. Nationalism and Ethnicity in West Asia

Session 7. Islamic Movements, Civil Society and Democracy

Session 8. Gender in the Middle East

以上のパネルについて、報告希望の受付は終了いたしました。上記 3~8 の自由企画パネルについては、現在ディスカッサントの受付を行っております。これは、各報告に対して 5-10 分程度のコメントや補足意見を提起するものです。ディスカッサントとして参加を希望される方は、12 月末日までに下記までご連絡ください。なお、ディスカッサントは非 AFMA 会員にも開かれています。

報告は現段階で、20-30 分程度を想定していますが、全体の時間調整の上、最終的な時間確定は追って連絡します。

上記自由企画のパネルはまだ暫定的なもので、現時点でテーマの確定しない報告希望者が数人おりますので、パネルは今後増える可能性があります。変更・更新された場合は、適宜日本中東学会のホームページで内容をお知らせします。

中東学会第 22 回年次大会では、中東学会会員で大会に参加する方には諸会費の前納制をとっております。AFMA 大会での中東学会会員報告者(ディスカッサントを含む)も、このシステムに準ずることといたします。よって、AFMA 大会での報告者・ディスカッサントは、2 月末日までに、中東学会年次大会参加費も含めて 2,000 円を、また懇親会に参加される方は懇親会費 5,000 円(学生会員は 4,000 円)を加えて、お支払いください。支払い方法については、年次大会への参加方法をご覧ください。( 3~4 ページに関連記事)

【連絡先】 日本中東学会国際交流委員会 AFMA 東京大会実行委員会

E-mail: afma2006may@yahoo.co.jp

FAX: 042-330-5543

郵送の場合は、

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 飯塚正人研究室気付

日本中東学会事務局

( AFMA 東京大会実行委員長 酒井 啓子 )

## 日本中東学会年報 (AJAMES) 編集委員会から

### 1. 博士論文英文要旨送付のお願い

すでに『日本中東学会年報』(AJAMES)では、第 21-2 号(2006 年 2 月刊行予定)以降、学会員の方が書かれた博士論文の内容紹介のコーナーを新設し、日本の中東研究の新しい展開を広く海外に発信していきたいと考えております。つき

ましてはこの趣旨を理解いただき、以下の要領で原稿を編集委員会に送っていただきたくお願いいたします。

対象：日本中東学会会員が中東に関して執筆した博士論文（原則として 2000 年以降）

原稿：タイトル（和文・英文）、執筆者名、博士論文提出先の大学院研究科名（和文・英文）、英文の要旨（2,000 ワード以内）

締切：2005 年 10 月 31 日

宛先：日本中東学会年報(AJAMES)編集委員会

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学東洋文化研究所 長沢栄治 気付

電話: 03-5841-5887

E-mail: nagasawa@ioc.u-tokyo.ac.jp

その他、詳しいことは上記までご相談ください。

## 2. 第 22-1 号の投稿締切について

『日本中東学会年報』第 22-1 号（2006 年 6 月刊行予定）の投稿締切は、2005 年 12 月 20 日を予定しております。執筆に当たっては、今年 6 月に改正された投稿規程、また新しく決められた執筆要領（学会ホームページからダウンロードできます）にしたがってくださるようお願いいたします。

なお、第 21-1 号は 10 月に刊行予定で編集作業を進めており、また次の第 21-2 号（2006 年 2 月刊行予定）は去る 9 月 7 日に編集委員会で投稿原稿について審査をいたしました。第 21-1 号の小特集は、“Changing Knowledge and Authority in Islam”、第 21-2 号の小特集は、“Sufism and Tariqa Movements in the Era of Islamic Resurgence”（仮題）を予定しております。

本誌では、会員の皆様から小特集の企画の提案や日本の中東研究紹介コーナー（Middle East Studies in Japan）などへの投稿を歓迎しております。また、書評の投稿についてもぜひよろしくようお願いいたします。

（日本中東学会年報（AJAMES）編集委員長 長沢 栄治）

学会への入会を希望される方は、学会ホームページの「日本中東学会について」をご覧ください。学会概要、会則、入会案内が掲載されており、入会申込フォームをダウンロードできます。また、学会事務局までご連絡いただければ、入会案内と申込フォームをお送りすることもできます。

## 寄贈図書

### 【単行本】

ジョン・エスポジト編、坂井定雄監修、小田切勝子訳『[オックスフォード]イスラームの歴史 2. 拡大する帝国』、『[オックスフォード]イスラームの歴史 3. 改革と再生の時代』共同通信社、2005.

奈良本英佑著『パレスチナの歴史』明石書店、2005.

マイケル・クック著、大川玲子訳、牧野信也解説『一冊でわかる コーラン』岩波書店、2005.

### 【逐次刊行物】

『関西アラブ・イスラム研究』vol.4、関西アラブ・イスラム研究編集委員会、2004.

『季刊アラブ』vol.114、日本アラブ協会、2005.

『現代の中東』vol.39、アジア経済研究所、2005.

Acta Orientalia (Academiae Scientiarum Hungaricae), Vol.57 No.2 (2004), Vol.58 No.1 (2005), Budapest.

## 2006 年度会費納入のお願い

本会は会費前納制をとっております。年次大会の折に 2006 年度分の会費納入の機会を設けさせていただき、未納の方には前号ニューズレターに郵便振替払込用紙を同封させていただきましたが、現在までのところ半数の会員の方からの納入にとどまっております。未納の方には、本号ニューズレターにも郵便振替払込用紙を同封させていただいておりますのでご利用ください。2005 年度以前の会費を未納の方はどうかお早めにお支払いください。未納分の払込確認後、当該年度の AJAMES をお送りいたします。



## 事務局より

A A 研が学会事務局をお引き受けして、はや半年が過ぎようとしています。この間、中東ではイランとエジプトで大統領選挙、アフガニスタンで下院・州議会選挙が行われ、サウディアラビアではファハド国王が逝去、代わってアブドゥラー新国王が即位しました。他方、ガザからはイスラエル軍が撤退。イラクでは10月15日、新憲法草案が国民投票にかけられる運びとなっています。

今後の中東情勢に大きな影響を与えるかもしれない、こうした多彩な動きが、果たして中東を良い方向に向かわせるのかどうか。いつもながら深く考え込まざるを得ないところですが、その一方で、個人的にはこの半年、選挙と占領軍撤退に代表される中東諸国の政治日程がおおむねタイムテーブルどおりに進んだことに軽い感動をおぼえています。この半年の政治日程は基本的にタイムテーブルどおり、せいぜい1か月遅れで実現できる程度のものだったと言ってしまえばそれまでですし、予定どおり行われた選挙の内実に疑問が残るケースもあるでしょう。中東和平のロードマップそのものは無期限停止状態にあることも事実です。けれども、中東の政治日程がここまでタイムテーブルどおりに進むというのは、やはり想定外ではないかという気がします。時間にルーズな中東、その影響を受けて？ 時間にルーズになりがちな中東研究者、中東駐在経験者といった説明・言い訳も、いずれ通用しなくなる日が来るのかもしれないかもしれません。もちろん、政治日程と市民生活を同列に論じることはできないでしょうが。

ともあれ、学会事務局もようやく業務の大半に慣れて参りました。会員や取次書店からの問い合わせにお答えするなど、こちらで予定の立たない仕事も多々ございますので、なかなかタイムテーブルどおりというわけにはいきませんが、様々な業務をおおむね予定どおりこなせるようになってきたのではないかと自負しております。今後とも、会員の皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

・恒例の秋の公開講演会が11月5日(土)に明治大学で開かれます。元来は高校生・大学生・一般市民を対象に企画された会ですが、今年の講演会で扱われる中東と日本の交流史は、学会員にとっても、現地に赴いた際、よく話題になるテーマのひとつでしょう。たくさんの学会員の来場をお待ちしています。

・来年度年次大会報告者の募集が始まりました！応募方法・締切等については本ニューズレター3ページをご覧ください。

・アジア中東学会連合（AFMA）第6回東京大会開催のために申請しておりました日本学術振興会国際研究集会助成が採択されました。これで、AFMA加盟学会からの大会参加者を招聘する資金をなんとか確保できそうです。

（飯塚 正人）

**日本中東学会ニュースレター 第105号**

発行日 2005年10月19日  
発行所 日本中東学会事務局  
印刷所 東洋出版印刷株式会社

**日本中東学会事務局**

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1  
東京外国語大学

アジア・アフリカ言語文化研究所  
飯塚正人研究室気付

TEL & FAX 042-330-5543

Eメール：james@aa.tufs.ac.jp

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/james/index.html>

郵便振替口座：00140-0-161096

銀行口座：三井住友銀行渋谷支店

普通 No. 5346808